

1

令和5年度

大阪府立中学校入学者選抜適性検査問題

〔大阪府立咲くやこの花中学校に係る入学者選抜・
大阪府立水都国際中学校に係る入学者選抜〕

適性検査 I

(国語・算数的問題)

注意

- 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
ただし、問題1は解答用紙①に、問題2は解答用紙②に書きなさい。
・答えとして記号を選ぶ問題は、右の【解答例】にならい、
すべて解答用紙の記号を○で囲みなさい。また、答えを
訂正するときは、もとの○をきれいに消しなさい。
・答えの字数が指定されている問題は、、。「」なども
一字に数えます。
解答用紙の採点者記入欄には、何も書いてはいけません。
- 問題は、中の用紙のA面に1、B・C面に2があります。
- 「開始」の合図で、まず、解答用紙①と解答用紙②に受験番号を書きなさい。
- 「終了」の合図で、すぐ鉛筆を置きなさい。

【解答例】

ア
イ
ウ
エ

○	受験 番号	番	得点		
---	----------	---	----	--	--

〈解答用紙②の合計〉

令和5年度大阪府立中学校入学者選抜適性検査問題

〔大阪府立咲くやこの花中学校に係る入学者選抜・
大阪府立水都国際中学校に係る入学者選抜〕

適性検査Ⅰ（国語・算数的問題）解答用紙②

解答用紙②

		採点者記入欄					
2	(1)	①	人		3		
		②	冊		3		
		③	ア	イ	3		
	(2)	①	cm ²		4		
		②	cm		4		
	(3)	①	ウ	エ	4		
			オ	カ			
		②	枚		4		
					25		

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

自然と人間の共生、私たちは近年になって^①しばしばこの言葉を口にするようになった。だが自然と人間の共生とは何だろうか。この問題を考えるとき、生存の条件を変えながら生きていく人間と、その条件を受け入れながら少しずつ過去の状態に戻^{もど}っていくこととする自然との、根本的な生存原理の違いを私は感じてしまう。そしてこの自然と人間の違いの奥^{おく}には、自然がつくりだしている時間世界と、人間の時間世界の相違^{さうい}があるように思うのである。「あ」

自然は特有の時間世界をもっている。ゆっくりと流れゆく時間や、時間スケールの大きさもその特徴のひとつだろう。少しずつしか変わることはない森の時間はゆったりと流れ、ときにその森のなかには、数千年を生きる古木が息づいている。それとくらべれば、人間の時間世界はあわただしくその短い時間を変わっていく。

だが^②それだけが、自然の時間の特徴だとは思わない。「い」なぜなら自然は円を描くように繰り返される時間世界のなかで生きているのに対して、現代の人間たちは、直線的に伸びていく時間世界のなかで暮らしているような気がするからである。「う」

森のなかでは季節は毎年繰り返されている。草花の花が咲き森の樹々が芽吹く春、濃緑の葉にツツまれる夏、紅葉の秋、そして落葉の冬。季節は毎年同じように循環^{じゅんかん}してきて、その季節のなかで森は、春の営み、夏の営み、そして秋の、冬の営みを繰り返す。毎年変わらない春を迎えることは、森の正常な姿である。「え」一年をタインイとする時間循環があり、さらに幼木が老木となって倒れていく、大きな時間循環の世界がある。

そしてこの循環する時間世界のなかで暮らすものたちは、変化を求めてはいないのである。太古の自然と同じように、今日の自然も生きようとしている。

だが現代の人間たちはそんな時間世界のなかでは生きていない。私たちはけっして循環することもなく、変わりつづける直線的な時間のなかで生きているのである。過去は過ぎ去り、時間とともに私たちはすべてのものを変化させてしまう。自然が去年と同じ春の営みをはじめののに対して、人間たちは昨年から一年を経た新しい春を迎えるのである。

ある意味では、人間はこの直線的な時間世界を確立することによって、循環する時間世界のなかで生存している自然から自立した動物になった。自然のように、セイ^{せい}いっばい春を生き、秋を生きていくことを、生命の証^{あかし}とすることはできなくなった。こうして、人間の営みは自然の営みを***阻害**するようになったのではなからうか。なぜなら人間たちは生存していくために変化を求めつづけるけれども、自然は生存条件の変化を求めてはいないからである。

とすると自然と人間が共生するには、循環的な時間世界のなかで、変化を望まずに生きている自然の時空をこわさないでおくことのできる社会を、私たちがつくりだすしかないのである。

(内山節『森にかよう道』による)

*循環 || ひとまわりして、また元の場所あるいは状態にかえり、それを繰り返すこと。

*証 || 確かな証拠。

*阻害 || じゃますること。

(1) 本文中の~~~~線部 a~c のカタカナを文脈に合わせて漢字に直し、解答欄の枠内に大きくていねいに書きなさい。

(2) 本文中に——線部①とありますが、次のア~エのうち、この言葉の本文中での意味として最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア もしも イ たびたび ウ いろいろ エ もともと

(3) 次のア~エのうち、本文中の——線部②のさし示している内容として最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 自然が生存の条件を受け入れながら少しずつ過去の状態に戻っていくこととするということ。
 イ 自然がつくりだしている時間世界と、人間の時間世界に相違があるということ。
 ウ 時間がゆっくりと流れゆくということや、時間のスケールが大きいということ。
 エ 時間があわただしく流れ、短い期間で次から次へと世界が変わっていくということ。

(4) 次の一文は本文中の「あ」~「え」のいずれかに入ります。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

こんな森の様子をみると、私には自然は循環する時間世界のなかで生きているように思えてくる。

(5) 本文中に——線部③とありますが、筆者は、現代の人間たちは直線的な時間世界を確立することによってどのようなものになり、自然に対してどのようなことをするようになったと述べていますか。その内容についてまとめた次の文の□に入る内容を、本文中の言葉を使って**三十五字以上、四十五字以内**で書きなさい。

現代の人間たちは、直線的な時間世界を確立することによって、
 □ ようになったのではないか。

(6) 次のア~エのうち、本文中で述べられている内容と合うものとして最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 今日自然は太古の自然と違って、循環的な時間世界のなかで変化を求めて生きようになった。
 イ 自然は一年ごとに新しい営みをはじめののに対して、人間は毎年同じ営みを繰り返している。
 ウ 現代の人間は生存の条件を変えながら生きていくことによって、自然がつくりだしている時間世界のなかで暮らすようになった。
 エ 人間は、自然の時空をこわさないでおくことのできる社会をつくりださなければ、自然と共生することはできない。

2 あすかさんとちひろさんとはるきさんは図書委員です。3人は図書委員として様々な活動をしています。

(1)~(3)の問いに答えなさい。

(1) あすかさんは、図書室に来た児童のうち、5年生10人と6年生15人に、「冬休みに読んだ本の冊数は何冊ですか。」というアンケートをとりました。表1は、そのアンケートの結果をまとめたものです。

①~③の問いに答えなさい。

表1

冬休みに読んだ本の冊数 (冊)	5年生 (人)	6年生 (人)
2	0	ア
3	2	イ
4	3	5
5	2	4
6	1	2
7	2	1
合計	10	15

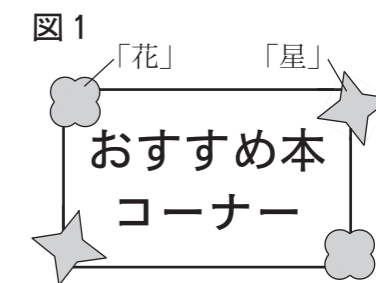
① アンケートに回答した5年生10人とアンケートに回答した6年生15人のうち、冬休みに読んだ本の冊数が5冊以上である児童は合計何人ですか。求めなさい。

② アンケートに回答した5年生10人の、冬休みに読んだ本の冊数の中央値を求めなさい。

③ アンケートに回答した6年生15人の、冬休みに読んだ本の冊数の平均値は4.4冊でした。表1中のア、イにあてはまる数をそれぞれ求めなさい。

(2) ちひろさんは、図書室のおすすめ本コーナーの看板を、図1のように、折り紙で作った「花」と「星」でかざりつけることにしました。

①, ②の問いに答えなさい。



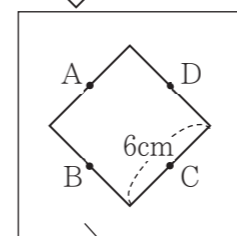
① 「花」を作るためには、まず折り紙の裏面の中央に、次の作業①と作業②を順に行って図形をかきます。図2は、作業①, 作業②それぞれを行ったあとの折り紙を表したものです。

作業① 1辺が6cmの正方形をかく。この正方形の各辺のまん中の点を、点A, 点B, 点C, 点Dとする。
 作業② 点A, 点B, 点C, 点Dをそれぞれ中心とする半径が3cmの円をかく。

次に、作業①と作業②を行ってできた図形の外側をすべて切り取ると「花」が完成します。図3は、「花」を表したものです。「花」(図3中の■)の面積を求めなさい。ただし、円周率は3.14とし、作業①と作業②を行ってできた図形が折り紙からはみ出ることとはしないものとします。

図2

作業①を行ったあと



折り紙の裏面

作業②を行ったあと

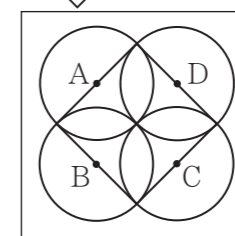
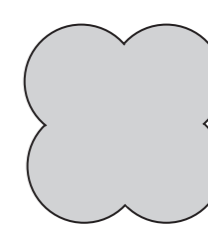


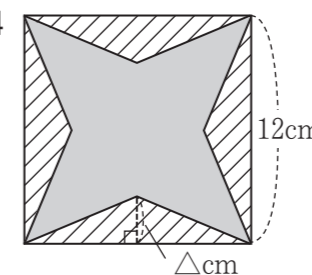
図3

「花」



② 「星」は、1辺が12cmの正方形の折り紙から、四つの合同な三角形を切り取って作ります。切り取る三角形は、どれも、正方形の辺を底辺とし、底辺以外の二つの辺の長さが等しい二等辺三角形です。図4は、「星」を作るときに切り取る部分と残る部分を表したものです。切り取る部分の面積の合計と残る部分の面積との比が5:7であるとき、切り取る三角形の高さ(図4中の△cm)を求めなさい。

図4



/// 切り取る部分
 ■ 残る部分

(3) はるきさんは、おすすめ本を紹介する記事^{しょうかい}をまとめた冊子を作ることになりました。

冊子は、紙を何枚か重ね、半分に折り曲げて作ります。冊子に使う紙は両面を使うこととし、左半分と右半分それぞれが冊子のページになります。また、ページ番号として、表紙や裏表紙をふくむすべてのページに、表紙から順に1から連続する(1ずつ大きくなる)整数をかきます。ページ番号は1ページにつき1個です。

例えば3枚の紙で冊子を作った場合について、それぞれの紙にかかれたページ番号は何かを考えます。図5は3枚の紙で作った冊子を、図6は図5の冊子を分解したようすを、それぞれ表したものです。表2は、図5の冊子の3枚の紙それぞれの内側の面と外側の面について、ページ番号がかかれたようすをまとめたもので、外側から1枚目の紙の内側の面にかかれたページ番号は、左のページが2で右のページが11です。

図5

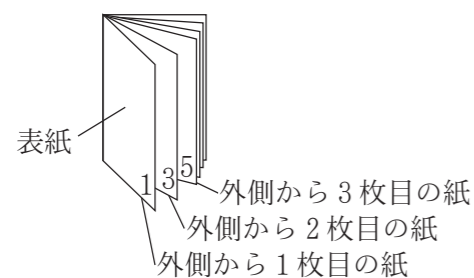


図6

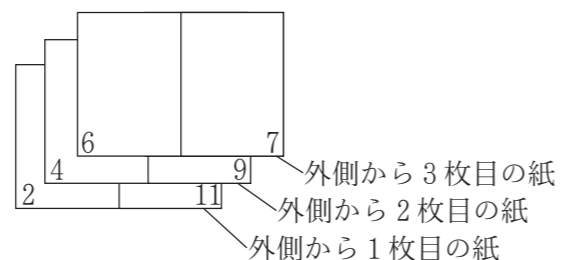


表2

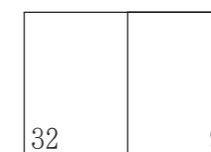
	外側から1枚目の紙	外側から2枚目の紙	外側から3枚目の紙						
内側の面	<table border="1"> <tr><td>2</td><td>11</td></tr> </table>	2	11	<table border="1"> <tr><td>4</td><td>9</td></tr> </table>	4	9	<table border="1"> <tr><td>6</td><td>7</td></tr> </table>	6	7
2	11								
4	9								
6	7								
外側の面	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>1</td></tr> </table>	12	1	<table border="1"> <tr><td>ウ</td><td>エ</td></tr> </table>	ウ	エ	<table border="1"> <tr><td>オ</td><td>カ</td></tr> </table>	オ	カ
12	1								
ウ	エ								
オ	カ								

①, ②の問いに答えなさい。

① 表2中の **ウ** ~ **カ** にあてはまるページ番号をそれぞれ書きなさい。

② ある枚数の紙で作った冊子を分解すると、冊子に使われていた紙のうち、ある紙のある面にかかれたページ番号は、図7のように、左のページが32で右のページが9でした。分解する前の冊子は、何枚の紙で作りましたか。求めなさい。

図7



受験 番号	番
----------	---

得点	
----	--

〈解答用紙①の合計〉

解答用紙①

1																	
(6)	(5)							(4)	(3)	(2)	(1)						
											c	b	a				
ア	ようになったのではないか。 35 45 直線的な時間世界を確立する ことによって、							[あ]	ア	ア	せい いっぱい	タン イ	ツツ まれる				
イ								[い]	イ	イ							
ウ								[う]	ウ	ウ							
エ								[え]	エ	エ							
	25	4								6	3	3	3	2	2	2	採点者記入欄

令和五年度大阪府立中学校入学者選抜適性検査問題
 〔大阪府立咲くやこの花中学校に係る入学者選抜・
 大阪府立水都国際中学校に係る入学者選抜〕
 適性検査Ⅰ（国語・算数的問題）解答用紙①

